

ので、保管の上、ご自身で手続きをお願いします。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページをご確認ください。

【医療安全管理者養成のための研修について】

本学術総会の教育セミナー「医療安全」へ事前申込をして参加された方には、履修証明を発行します。

※詳細は、日本医療マネジメント学会雑誌26巻3号及び第28回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページを参照ください。

問い合わせ先:

第28回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局：トヨタ記念病院

〒471-8513 愛知県豊田市平和町 1-1

TEL：0565-28-0100(代表) FAX：0565-24-7170(代表)

E-mail：toyotamh-jhm2026@mail.toyota.co.jp

運営事務局：株式会社コングレ中部MICE 事業部

〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1

名古屋栄ビルディング7F

TEL：052-950-3430 FAX：052-950-3370

E-mail：jhm2026@m.congre.co.jp

第28回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ

<https://www.congre.co.jp/jhm2026/>

開催報告

第27回日本医療マネジメント学会学術総会

第27回日本医療マネジメント学会学術総会

会長 上之原広司

(国立病院機構仙台医療センター名誉院長
社会医療法人康陽会中嶋病院顧問)

第27回日本医療マネジメント学会学術総会を本年7月18日(金)・19日(土)の2日間にわたり、仙台国際センター展示棟および江陽グランドホテルに於いて開催いたしました。今回は7月中旬の猛暑の中、2会場での分散開催となりご不便をおかけしましたが会場に約3,800名の方にご参加いただくことが出来ました。心より御礼申し上げます。

宮城県仙台市での開催は2017年以来、8年ぶり3回目の開催となりました。会場の仙台国際センターは青葉城址に隣接し、仙台藩主伊達政宗の霊廟瑞鳳殿も近隣にあり、さらに近郊には秋保温泉などもございます。学会の合間あるいは終了後に楽しんでいただけたことと思います。

さて、第27回学術総会のテーマは「少子・高齢化時代の医療マネジメント～医療・介護に求められる変革～」とし、さまざまなプログラムを企画いたしました。

基調講演、会長講演、招待講演3題、特別講演3題、



開会式

教育講演5題、教育セミナー2題に加え、メインシンポジウムのほかにシンポジウムを16題、特別企画(生成AIによる講演)を組み入れました。また、閉会式後には市民公開講座も開催いたしました。

9会場とポスター会場にて行われた一般演題では口演614題、ポスター142題、クリティカルパス展示8題の合計764題が発表され、会場によっては立ち見が出るほどの盛況ぶりで活発な意見交換がなされました。「医療の質」や「教育」のセッションには多くの演題発表が行われ、昨今、各病院にて取り組まれている「地域連携」や「病院運営」のセッションにも多くの演者の皆様により、日ごろの成果が報告されました。

7月18日(金)の開会式には、村井嘉浩宮城県知事にご臨席いただき、祝辞を賜りました。少子高齢化、地域格差、さらに医師の偏在については宮城県でも大きな問題として対策を行ってきている。医療と介護の連携はこれからの大きな課題であり、学会にお集まりの関係者の皆さんに負うところは大きい。情報交換の場となってくれることを期待するとお言葉を頂戴しました。

開会式の後には、宮崎久義理事長による基調講演が行われました。「医療・福祉・介護の現場における課題解決のために」と題し、未曾有の少子高齢社会では医療・福祉・介護の分野でも、医療費削減、人手不足、働き方改革、地域格差等、様々な多くの課題が山積しています。原点に立ちかえり、リセットして皆様とともに様々な課題解決に現場重視の視点から新たな挑戦を試みたいと今後の方向性を示されました。

これより、各会場にて開催された各種講演やシンポジウムの様子をご紹介します。18日の午後には、本学術総会会長の上之原より会長講演「救急、災害・パンデミック、高齢者～救急医療を中心に」をお話しさせていただきました。人口減少社会、生産年齢層の減少、そして後期高齢者が急増する中で高齢者救急の増加に対